

医療安全基礎講座 2016

— 医療安全の基本知識 —

(会期) 2016年7月20日(水)～7月22日(金) 受付開始: 7月20日午前9時
(会場) 東京大学伊藤国際研究学術センター・ホール (定数400名) …東大本郷キャンパス赤門付近
東京都文京区本郷7-3-1 (地下鉄丸の内線ないし都営大江戸線本郷三丁目駅下車・徒歩10分)

(主催) 国際医療リスクマネジメント学会 (後援) 日本医療安全学会
(受講対象者) 国際医療リスクマネジメント学会の会員、日本医療安全学会の会員、医療施設経営者、専任医療安全管理者、専任医療安全管理者、歯科医療安全管理者、リスクマネージャー、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師、法関係者、医療事務関係者、医療産業界関係者、その他

(趣旨) 医療安全に関する基本知識を習得します。なお、本プログラムは、厚生労働省の診療報酬改定による「医療安全対策」として診療報酬申請に加算する際に、加算の対象となる2016年度の研修教科内容(年間40時間以上)の1部にもなります。また、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度の必須科目でもあります。参加者には受講終了書を発行します。

プログラム

2016年7月20日(水) 午前10時～午後6時

午前10時～午前10時15分 ガイダンス
午前10時15分～午前12時 品質管理の医療への応用可能性 藤本隆宏(東京大学ものづくり経営研究センター教授)
午後1時～午後1時50分 病理解剖, CPCは医療事故調査の柱, 医療安全の基盤 深山正久(東京大学大学院医学系研究科病理学教授)
午後2時～午後3時50分 医療安全のためのリスク学入門 岸本充生(東京大学公共政策学特任教授)
午後4時～午後4時50分 チーム医療からみた安全と臨床コミュニケーションの基本 海渡健(東京慈恵大院医療安全管理室教授)
午後5時～午後6時 医療安全管理業務の現状と課題 -医療管理者の心得- 渡邊正志(東邦大学大森病院医療安全管理部教授)

2016年7月21日(木) 午前9時～午後5時

午前9時～午前10時50分 医療安全活動の基本フレーム 酒井亮二(国際医療リスクマネジメント学会理事長)
午前11時～午前12時 医療事故時の緊急対応のあり方 — 医療安全管理者の立場から 長谷川 奉延(慶應義塾大学医学部小児科学教室教授、慶應義塾大学病院副病院長・同医療安全対策室長)
午後1時～午後2時50分 医療安全委員会の当院における医療安全管理活動の概要 --事例報告-- 佐和貞治(京都府立医科大学附属病院医療安全管理部部長、教授、副院長)
午後3時～午後3時50分 医療安全委員会の進め方の基本 三上久美子(横浜市立みなと赤十字病院医療安全推進課課長)
午後4時～午後5時 医療メディアエーションの基本 和田仁孝(早稲田大学法学学術院教授)

2016年7月22日(金) 午前9時～午後5時

午前9時～午前9時50分 院内ラウンドの進め方の基本 新村美佐香(菊名記念病院医療安全管理室長)
午前10時～午前10時50分 医療事故時の対応のあり方 — 法的観点から 田邊 昇(中村・平井・田邊法律事務所 弁護士、医師。厚労省「医療事故調査制度検討会」委員)
午前11時～午前12時 院内医療事故調査制度の概要 田邊 昇(同上)
午後1時～午後1時50分 医療安全に関する院内講習会の進め方の基本 松村由美(京大病院医療安全管理室室長、病院教授)
午後2時～午後2時50分 インシデントレポートに基づいた現場調査と現場へのフィードバック 松村由美(同上)
午後3時～午後3時50分 患者相談の進め方 瀧本禎之(東大病院患者相談室室長、医療倫理学教室准教授)
午後4時～午後5時 医療事故に関する情報収集方法とその活用法の基本 岡田有策(慶應義塾大学理工学部管理工学科ヒューマンファクター研究室教授)

参加申込締め切り: 2016年7月11日(月)

定数(400名)になり次第、登録受付を閉め切ります。

参加費は下記ホームページに掲載した申込書をご覧ください。

担当事務局

国際医療リスクマネジメント学会本部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

(Tel/Fax) 03-3817-6770

(電子メール) head.office01iarmm.org

医療安全基礎講座 2016 ホームページ

<http://www.iarmm.org/J/BASIC2016/>